### 連携室ニュース

## 2019年度 地域連携会議のご案内

今年度も2019年度地域連携会議を開催致します。多数の皆様のご臨席を賜ります様お願い 申しあげます。

**日時 2019年5月30日(木) 17:30~20:30** 

場所 加古川プラザホテル

内容 [第1部] 講演会 17:35~18:15(40分間)

「災害時における医療機関の宿命と地域連携の重要性」

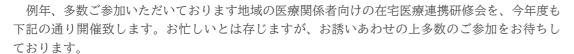
兵庫県災害医療センター センター長 中山 伸一 先生

[第2部] 加古川中央市民病院トピックス 18:20~18:50(30分間)

[第3部] 意見交換会 19:00~20:30

すでに多数の参加をお申し込み頂き、締め切らせていただいておりますが、若干のお時間で も会議へ参加できる地域の医療機関、施設の方がいらっしゃいましたら、加古川中央市民病院 患者支援センター地域連携室までご連絡頂きます様お願い致します。

# 2019年度 在宅医療連携研修会のお知らせ



テーマ	講師、事例検討内容	開催日
緩和ケア	阪井 美緒 緩和ケア認定看護師	6月13日(木)
事例検討会	呼吸器疾患を有する患者の事例(仮)	7月10日(水)
救急看護(熱中症・脱水)	平石 恵子 救急看護認定看護師	8月 8日(木)
心不全	小林 彩香 慢性心不全看護認定看護師	9月17日(火)
事例検討会	心不全を繰り返す患者の事例(仮)	10月10日(木)
慢性疾患看護	林 美代子 慢性疾患看護専門看護師	11月13日(水)
事例検討会	医療処置を持って在宅療養へ移行する事例(仮)	12月12日(木)
家族看護	永富 宏明 家族支援専門看護師	1月16日(木)
精神看護	山田 恭子 精神看護専門看護	3月12日(木)

場所:加古川中央市民病院 光(きらり)ホール 時間:18時~19時30分(受付17時30分~)

日程や内容、講師が急遽変更となる場合があります。毎回のご案内文で確認をお願いいたします。お車でお越しの方は院内駐車場に駐車してください。割引券をお渡しいたします。



#### 患者支援センター地域連携室

予約専用 TEL.079-451-8651 / FAX.079-451-8653

その他 TEL.079-451-8652/FAX.079-451-8654

http://www.kakohp.jp/medical person/



加古川市民病院機構 理念

いのちの誕生から生涯にわたって地域住民の健康を支え、頼られる病院であり続けます

加古川中央市民病院

地域連携情報誌







vol.18 2019年5月



新年度を迎えて	2
地域への情報発信	
2019年度新任医師一覧	
診療ドクター紹介	
連携医紹介	7
宙雑ウューフ	0

放射線治療におけるチーム医療



平素は、当院の運営に格別のご理解ご協力をいただき誠に有難うございます。

平成28年7月1日、加古川中央市民病院が開院し早いもので3年が経ちます。入院並びに外来診療が 順調にできております事、近隣医療機関の皆様のご支援のおかげと深く感謝申し上げます。

開院時の30診療科に加え、昨年は乳腺外科、そして今年度は放射線治療専門医を迎え放射線治療科を 増設し32診療科でスタートを切りました。各診療科が新しい技術を取り入れ専門医療を実践し、その総 合力で救急医療に取り組むことにより手術件数8,354件、救急車受け入れ件数7,653件(平成30年度) など急性期病院としての実績を積んできました。小児循環器領域の診断と治療、脳血管内カテーテル治療、 経カテーテル的大動脈弁置換術、小児並びに成人先天性心疾患手術など新たな領域の診療も軌道に乗り 安全に実施できています。また、肥満症治療チームを結成し肥満外科手術も始まったところです。

少子高齢化社会、多死社会にむけて看取りの議論や地域包括ケアシステムの構築への取り組みが行われ る一方、地域医療アドバイザーも参加する地域医療構想調整会議も始まり、各々の病院の役割の明確化と それに見合った病院運営が求められています。当院は、地域の高度急性期・急性期を担う基幹病院として この地域全体の医療の今後を見据え、医療・介護連携を一層強固なものにしていきたいと考えています。 患者支援センター(地域連携室、入退院支援室、在宅医療支援室)を中心に、入院前より退院を見据えた 早期介入や退院後の一定期間の在宅訪問により地域の医療機関や介護施設との連携を強化することで 急性期病院としての役割をしっかりと果たしていきたいと考えています。どうぞ、よろしくお願い申し 上げます。

長年続いた「平成」が終わり、新しい「令和」の時代が始まったところです。加古川中央市民病院も 気持ちを新たにして、地域にしっかりと根ざした、新しい時代の社会に相応しい病院に向けて診療機能の 一層の充実を図るべく取り組んでまいります。宜しく、ご指導ご鞭撻の程お願い申し上げます。

地域への 情報発信

# 2019年度新任医師一覧



配属	氏 名	備考
総合内科	東目亜湖	専 攻 医
内 科	柴田 精彦	専 攻 医
消化器内科	オカモト コウヘイ 岡本 浩平	専 攻 医
	杉原康介	専 攻 医
	トモフジ セイジ 友藤 清爾	専 攻 医
循環器内科	ナガマツ ユウィチ	
	*************************************	専 攻 医
リウマチ・膠原病内科	大西 貴久	
	<sup>779= マ ‡</sup> 岩谷 真季	専 攻 医
腎臓内科	市川理紗	医 長
	<sup>△カエ</sup> ショウタ 向江 翔太	専 攻 医
	<sup>ドウザキ</sup> リョウタ 堂﨑 良太	専 攻 医
	安積陽也	専 攻 医
脳神経内科	刀坂 公崇	専 攻 医
糖尿病・代謝内科	肘井 慧子	専 攻 医
乳腺外科	土屋和彦	科特任部長
外 科	小南裕明	科副部長
	ァ <sub>キタ</sub> マサユキ 秋田 真之	
小児外科	中尾真	科 部 長
	<sub>ワタナベ</sub> アャ 渡部 彩	

配属	氏 名	備考
整形外科	岩谷聡	
	フルカワ タカヒロ	
	古川隆浩	
	佐野 翔平	専 攻 医
形成外科	佐竹寛	専 攻 医
精神神経科	井上 貴裕	
	谷藤 貴紀	専 攻 医
小 児 科	高寺 明弘	科副部長
	上村和也	
	<sup>ウェダ</sup> タクヤ 上田 拓耶	専 攻 医
	金谷 真吾	専 攻 医
	広田 幸穂	専 攻 医
眼科	前田 祥史	医 長
耳鼻咽喉科	<sup>シゲッ</sup> ジュン 繁治 純	医 長
産婦人科	宮本岳雄	科 部 長
皮膚科	中谷 祥子	専 攻 医
放射線診断・IVR和	延	医 長
放射線治療科	松本葉子	医 長
麻 酔 科	大西 三千代	専 攻 医



樟 侑樹 大澤 悠樹 宮路 啓太 大橋 浩基 飯田 圭輔



2019年4月より、「放射線科」は、より専門性を高めるために、「放射線診断・IVR科」と「放射線治療科」と組織編成を行いました。より安心かつ安全に放射線治療を受けていただけるよう、4月から赴任した放射線治療専門医松本葉子医師を中心とした多職種連携のもと、より一層チーム医療を促進してまいります。

放射線科

放射線診断・IVR科

放射線治療科

放射線治療は、担当科やご紹介元の先生方との情報共有・連携とともに、放射線治療を実際に行う他職種との連携が大切な治療です。

がんの三大治療は、「手術」「薬物療法」「放射線治療」ですが、このうちの放射線治療を担当科と連携しなが ら行っています。適応の検討、照射方法や線量、併用療法など治療方針を決定し、照射中の管理や照射後の経 過観察を行います。

また、実際の放射線治療は、放射線治療医、医学物理士、診療放射線技師、看護師など、さまざまな職種のスタッフが専門的な知識・経験を以ってチームとして連携・協力して初めて可能となる治療です。より効果が高く副作用が少ない放射線治療が受けられるよう、照射の態勢や照射方法、位置合わせの工夫を検討しながら治療計画を立てていきます。また、毎日の照射がスムーズに受けられるよう、体調確認や通院のサポートを行っています。チームー丸となって患者さんに安心安全な放射線治療を提供してまいりたいと思います。



放射線治療科 医長 松本 葉子



照射する部位の自動位 置決めが可能となり、 放射線治療のスルー プットが飛躍的に向上 します。 動体追跡システムにより呼吸によって動く腫瘍を的確にとらえ、副作用の少ない安全な放射線治療を提供します。

## 動体追跡システム SyncTraX

最新の放射線治療器と動体追跡システムSyncTraXを導入しております。 腫瘍の近くに埋め込まれた極小マーカーをリアルタイムに追跡し、腫瘍の 動きに合わせた治療を放射線治療装置『TrueBeam』と連動することで、 さらなる高精度な放射線治療が可能となりました。

### 動体追跡放射線治療とは…

従来の放射線治療では、呼吸性移動がある腫瘍は動きのある範囲すべて に放射線を照射していたため、正常組織にも多くの放射線が照射されていま した。

SyncTraXは腫瘍近傍に埋め込まれたマーカーの位置を画像上で追跡し、マーカーが所定の位置に存在する場合のみ腫瘍へ向けて放射線を照射します。これにより、腫瘍のみに集中して照射することが可能となり、副作用のリスクを最小限に抑えることができます。

放射線治療の進歩は目覚ましいものがあり、現在ではがん集学的治療の中で大きな役割を担っています。治療機器の向上により患者さん1人1人に対応した治療が可能となり、それに伴った高精度・高安全性を重視した高品質な放射線治療を目指して力を注いでいます。

当院の放射線治療において技術面では、医学物理士が治療計画の品質を確かめ、専従の放射線治療専門放射線技師が日々の治療の精度 管理を行うことで、患者さんが放射線治療を安心して受けられるように努めております。また、看護面においても専従のがん放射線療法看 護認定看護師を配置して治療過程で生じる患者さんの身体や心理・社会的問題等をアセスメントし、安全に苦痛なく治療が完遂できるよう に支援を行っています。各スタッフの専従的で専門性の高い協力があるからこそ、放射線治療を行う技師も患者治療に集中することがで き、患者さんの状況に応じた最適医療を提供できると認識しております。

チーム医療を進める上での基盤は、情報の共有・業務を分担しつつも互いに連携と補完をし合うことです。この度、常勤放射線治療専門医を迎えたことから放射線治療が適応となる患者さんの増加が見込まれ、より一層チームとして機能することが求められます。今後も患者さんを中心とした高度な医療実現のために、医療スタッフ間の連携を一層進めたいと考えています。当院の放射線治療を今後ともよろしくお願いいたします。

放射線治療専門放射線技師、放射線治療品質管理士 村上 直基

私は、医学物理士の認定資格を持つ診療放射線技師として勤務しております。医学物理士とは、 「放射線医学における物理的および技術的課題の解決に先導的役割を担う者」と定義され、一般財団法人医学物理士認定機構が認定を行っている資格です。

当院では高精度な放射線治療を可能にするVarian社製TrueBEAMと呼吸性移動臓器の動きをリアルタイムに把握して、呼吸の動きに合わせたピンポイント照射を支援する動体追跡システムShimadzu社製SyncTraX FX4が導入されています。ピンポイント照射により病巣に放射線を集中させ、周囲の正常組織の障害を低減することで副作用の少ない治療を目指しています。しかし、高精度な放射線治療では、非常に複雑な照射を行うためコンピューターを駆使して機器の最適化をお



こなう必要性があります。これには高度な専門知識が必要であり医学物理士が主に行う業務です。また、治療技師や看護師と協力して治療計画CTの撮影を行い患者さんと直接関わることで患者さん個人の特徴を把握し、放射線治療医と共同で行う照射方法の計画案(放射線治療計画)に活かしていくことを心掛けています。

放射線治療において患者さんに照射される放射線量は薬剤の投与量と同様に非常に重要なものです。放射線は目に見えず身体で感じることも出来ないため、放射線治療専門医の処方する放射線量が患者さんに確実に照射されているかを確認する事は必要不可欠です。医学物理士は、様々な測定方法を用いることで放射線量の測定を行い、放射線治療の精度管理を行っています。

私自身このような業務でチーム医療の一端を担えればと考えております。今後とも、高精度で患者さんに負担の少ない放射線治療が実現できるよう日々精進してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

放射線治療専門放射線技師、放射線治療品質管理士、医学物理士 川村 哲朗



近年の放射線治療は機器や技術の進歩で高精度放射線治療の発展が進み、今まで以上に低侵襲で 副作用も少なく、治療中や治療後におけるQOL向上や維持が可能になりました。

診療放射線技師は患者さんの状態に合わせて治療体位の工夫や固定具作成を行うことで治療中の負担軽減や位置再現性の向上に日々努めています。また、技師の立場からも患者さんへの治療説明を行い、相互の理解を深めることで円滑な治療の実現を目指しています。患者さんの目線に立ち、医師・看護師・医学物理士・メディカルクラークなどの各専門分野に携わるスタッフとの情報共有を徹底し、個々の患者さんに応じた放射線治療を提供することができるよう精力的に取り組んでいます。

治療を受けられる患者さんは精神面・身体面が不安定な状態にある方が多いです。私たちは照射 ※し、スタッフ全員が一体となって積極的にコミュニケーションをとりながら患者さんと協働し、安全安

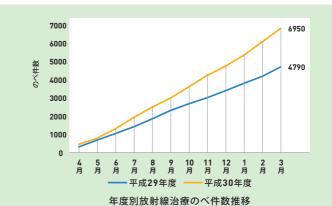
期間中、患者さんの状態を常時観察し、スタッフ全員が一体となって積極的にコミュニケーションをとりながら患者さんと協働し、安全安心の放射線治療を完遂できるよう日々サポートさせていただきたいと考えています。

放射線治療専門放射線技師 藤井 雄介

放射線治療の特性として、外来通院でできることや、高齢・合併症などの理由から手術や薬物療法を受けられない患者さんにおいても治療の対象となることから需要が増えています。そのため、看護の専門性が求められていると日々感じています。放射線治療室における看護師の役割は、患者さんが、不安なく安心して放射線治療が完遂できることを目的として活動しています。活動内容として、患者さんの身体的・精神的・社会的背景を包括的に理解した上での意思決定支援、放射線治療に伴う不安への介入、有害事象の予防や症状緩和へのセルフケア支援、照射時における医療的ケアの提供、医師・放射線技師・病棟看護師・その他のメディカルスタッフとの調整を行っています。また、最近では、仕事をしながら放射線治療を受ける患者さんも増えており、ライフスタイルを尊重した支援も行っています。そのために、日々短時間の関わりの中で、患者さん一人一人に声掛けを行うことで表情や言動・声のトーンなどから体調の変化をアセスメントし、異常の早期発見、個別性に合わせた対応をするように心がけています。積極的に、スタッフとの情報共有を行い、患者さんに寄り添った看護の提供ができればと考えています。

#### 放射線治療件数

平成30年4月より、乳腺外来がスタートし、治療件数も大幅に増加しております。 平成29年度の放射線治療の べ総件数は4,790件、平成30 年度ののべ総件数は6,950件 で大幅に伸びております。





# 呼吸器内科

詳しくはホームページをご覧ください

加古川中央市民病院 呼吸器内科



呼吸器内科主任科部長(兼) 院内感染対策室長

西馬 照明 (にしうま てるあき)

[専門分野] ぜんそく COPD 間質性肺炎 呼吸器疾患全般



呼吸器内科は特に専門を作らず診療を行っています。可能な 限り当院で治療方針を決定し、軽症例などはご紹介の施設にお 返しています。気管支鏡検査は350件/年以上、入院患者数も 1,000人/年を超え、スタッフも増やしてきました。呼吸器診 療は当院中心ではなく、地域の医療機関との連携が欠かせませ んので、日ごろから紹介しやすい体制作りと情報発信に努めた いと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

呼吸器内科 医長 堀 朱矢 (ほり すや)

[専門分野] 肺がん診療

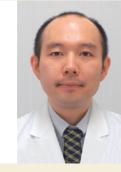


当院開院3か月前の加古川西市民病院に赴任してから丸3 年が経過しました。育った町・加古川にはやはり愛着があり、 市民の皆様のために丁寧な説明を心がけて診療をしております。 肺がん分野の医療はめざましく進歩しており、その薬物療法の 分野を内科は担当しますが、当院は外科・放射線科・病理診断科・ 緩和医療も充実しており、診断から治療まで幅広く充実した医 療を提供できると思います。何卒よろしくお願いいたします。

呼吸器内科 医長

德永 俊太郎 (とくなが しゅんたろう)

[専門分野] 肺がん 呼吸療法



急性呼吸不全の人工呼吸器管理から、進行期肺癌の症状緩和 まで。亡くなるかもしれない人を救命するということと、亡く なるしかない人が充足した最期を迎えることができるようにする こととの最大の振れ幅のなかで全人的な医療に努めてまいります。 加古川の地域医療の核を担うべく集っている若手医師が、 数十年先も輝き続けられるように、指導・教育することも使 命の一つと考えています。

呼吸器内科 医師

藤井 真央 (ふじい まお)

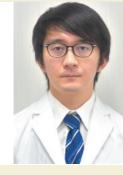
[専門分野] 呼吸器疾患全般



肺癌は死因の第一位であり、喫煙率は低下しているにも関 わらず罹患率は増加しています。治療薬の進歩が目覚まし く、最新の医療を提供できるように日々勉強に励んでいま す。当院では多岐にわたる呼吸器疾患を抱えた患者さんがい らっしゃいます。全国的に呼吸器内科医が少ない中、当院が 果たす役割は大きいと考えており、患者さんに寄り添った診 療を心掛けています。

呼吸器内科 専攻医 矢谷 敦彦

[専門分野] 呼吸器疾患全般



2017年度より当院にて診療させて頂いております。呼吸 器疾患は気管支喘息、感染症、肺癌、間質性肺炎等多岐にわ たりますが、診断から治療導入までを迅速に行い、患者さん にとってわかりやすい説明を行うことを心掛けております。 また、循環器内科、リウマチ・膠原病内科等必要な際は、他 診療科とも連携を図りながら診療にあたっております。どう ぞ宜しくお願い申し上げます。

# 井上医院

連携医紹介

「診療科:内科/消化器科]

平成14年4月より西神吉バス停前で内科医院を開院し ております、院長の井上忠夫と申します。最近、駐車場を拡 張致しました。

当院では高血圧症·脂質異常症·糖尿病などの生活習慣 病を中心に、消化器疾患、一般内科等の診療も行っており

検査は、心電図、X線診断装置、胸部・腹部超音波検査、 動脈硬化検査、骨密度測定装置、胃内視鏡検査等を行って



院長 井上忠夫先生

地域の皆様のかかりつけ医として、継続的な治療、日々の健康管理・健康相談のでき る医院を目指しています。また、それぞれの患者様に応じた個別化医療ができるよう 心がけております。加古川中央市民病院様には、前身の加古川市民病院と神鋼加古川 病院の頃より急性疾患、手術、画像検査、内視鏡検査、他科受診で大変お世話になって おり、いつもていねいなご返事を頂きありがとうございます。今後ともよろしくお願い 致します。



所在地:加古川市西神吉町岸288-2

駐車場台数:25台

TEL.079-433-3086

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前 9:00~12:00	0	0	0	0	0	0	_
午後 16:00~19:00	0	_	0	_	0	_	_

# しらい皮ふ科クリニック [診療科:皮膚科]

平成29年11月6日に加古郡稲美町に「しらい皮フ科ク リニック | を開院いたしました白井成鎬と申します。

皮膚疾患はアレルギー疾患、腫瘍性疾患、感染症など多 岐にわたります。開院して約1年半が経過しましたが、重度 の方でも今までは近隣に皮膚科のクリニックがないとの事 で加療をされたことがない方もおられ、初診時は原因、治 療方法、今後の見通しなどを丁寧に説明し、患者様それぞ れに適した治療を提供できるよう心掛けています。より高 度で専門的な治療が必要と判断した場合には、加古川中



院長 白井 成鎬 先生

央市民病院をはじめ地域の医療機関にお世話になることがあり、大変心強く思ってお ります。これからも地域の皆様の健康維持に努めるよう日々精進していきたいと思っ ております。よろしくお願い申し上げます。

148	中一色
しらい皮ふ科クリニック	

	万才池	しら	い皮が ニック	5科	384	
月	火	水	木	金	±	日
$\bigcirc$			_	0	0	_

午前 9:00~12:00	0	0	0	_	0	0	_
手術·処置(予約制) 14:00~15:00	0	0	0	_	0	_	_
午後 15:00~18:00	0	0	0	_	0	_	_

TEL.079-441-8708

所在地:加古郡稲美町中一色821-1

駐車場台数:22台